

地域活動連携協議会

こんなことやってまーす！ 今号の表紙で紹介した各地区連携協議会の今までの活動を報告します。



今年は市内
12か所で
開催しました！

FEC+W KAWASAKI まつり

10/22

- ホテル緑道前広場
- 生活クラブ戸手生活館

ホテル緑道前

生活クラブのキャラバンカーで消費材の展示販売や、復興支援グッズ・手作り品・石けん類の販売をしました。また、車いす体験のコーナーもありました。会場のホテルの向かい側はストリートアートが市庁舎の建築現場の壁いっぱいに描かれていて、素敵な場所でした。



車いすの体験



取材をする学生さん

地域活動連携協議会かわさき

私たちは、協議会発足時からFEC+W KAWASAKIまつりを開催してきました。生活クラブから生み出された運動グループもそれぞれ自立した運営をする中で交流が少なくなり、お互いのしている活動が見えにくくなったため、この協議会の設立を契機にお互いの活動をもっと知り合い、協力して地域の課題に向き合っていくためです。

昨年までは、高津センターを中心に開催していましたが、今年はより身近な地域の連携を深めていきたいと、地域ごとに企画を考え実行しました。W.Coも主体的に企画から当日の参加までかわかり地域の団体と連携を図ることができました。 理事長 木村満里子

10/23

- 平和公園・平和館
- 生活クラブ高津センター
- 宮前平デポー
- たかつデポー・宮前ネット事務所前

仕事相談コーナー



高津センター

「久しぶり！」と会場のおちこちで声がします。親子連れはW.Coキャンディと commons主催の絵本、楽器遊び、お下がりが交流会へ。健康美容コーナーも人気でしたが、惣菜売り場も大賑わいでした。野菜も完売、アンケートにも多くの参加者からご協力をいただきました。

マジックボランティアの学生を囲んで



店頭での催しを大人も子どもも楽しんだ一日でした



裂き布ぞうり販売

平和公園・平和館

公園では生活クラブ生協の紹介とW.Coぱんじいの活動紹介、平和館では子どもお菓子店、こねこね石けん、牛乳パックで紙飛行機、季節の折り紙、生活クラブ生協の紹介、活動紹介パネル展示、仕事・介護相談と盛りだくさんの内容。「タウンニュース」に掲載した効果で来場した方もいらっしゃいました。



紙芝居に夢中の子どもたち

10/24

- 王禅寺公園
- 生活リハビリクラブ幸
- メロディーココ
- 諏訪公園

王禅寺公園

開会前から続々と入場者があり、あっという間に人で埋め尽くされました。「もっちゃん」さんのパルーンアートと「ヘンゼルとグレーテル」の紙芝居に子どもも大人も釘付け！防災企画「災害時のトイレ」のデモンストレーションを心待ちにしていた来場者も。ワーカー募集の成果もあり、久しぶりに楽しく集えた1日でした。

天気にも恵まれ大盛況でした



災害時のトイレ



諏訪公園・生活リハビリクラブ幸・多世代の居場所メロディーココ

3か所同時開催。3会場でスタンプラリーを行った相乗効果で大盛況でした。諏訪公園では、生活クラブの拡大。生活リハビリクラブ幸では組合員とワーカーによるお琴合奏、折り紙教室、各団体の活動紹介、地場野菜販売など。メロディーココでは働く人相談会、お好み焼きや炊き込みご飯、きなりっこや地域の連携団体の手作り品販売などを行いました。ミーティングでは連携する団体が勢ぞろいし地域連携の力を感じました。

湘南地域活動連携協議会



2018年度に開催した種子法の学習会の反響が大きかったこともあり、2019年度は、身近な食の安全をテーマにすることで、より多くの市民が自分事として捉えられる課題として「遺伝子組み換えとゲノム編集学習会」を開催しました。ゲノム編集の問題点は、わかりにくいため、湘南各地で同様の学習会を開催する予定でしたが、コロナ禍と重なり横須賀のみでの開催となりました。また、commons・デポー運営委員会による市民政策提案活動についても協議会で共有し、神奈川ネットワーク運動のメンバーからアドバイスを受けるなどして、提出する組織が増えました。自治体が多く地域も広いですが、それぞれの状況を知ることができ、また、参加メンバー同士の意見交換も貴重な会議になっています。

湘南地域活動連携協議会副代表 小林麻利子

県央さがみ地域活動連携協議会



県央さがみ地活連は、地域のつながりづくりを力を入れています。構成団体の1人ひとりが連携を実感し地域課題を共有する場として学習会を企画してきました。

今年度は11月2日（火）に学習会をオンラインで開催しました。講師は環境活動家の武本匡弘氏。テーマは、海の世界、エネルギー、平和でした。（詳しくはうえい12月号で）

さがみ生活クラブがすすめる「居場所アソシエーションプロジェクト」の報告会も、各W.Coに参加を呼びかけます。また、大型班を拡大したイメージの「commonsステーション」づくりにも協力したいと考えています。

コロナ禍が「つながろう」という意欲を後退させています。「つながることの大切さ」を改めて共有し、住み続けたい地域をつくっていきましょう。

理事 河崎民子、菊地和美

横浜エリア連携協議会

9月9日（木）Zoomオンラインで「脱プラスチック対策を考えよう」学習会を行いました。



詳しくは

p3 TOPICS みてね!